

水道の凍結にご注意を

水道凍結は外気温マイナス4度から

恵那市内では、冬の時期に水道の凍結や凍結に伴う漏水事故が多発します。寒い日が続くと、水道管や蛇口が凍結しやすくなります。水道が凍結すると、水が出なくなるだけではなく、水道管が破損した場合は修理費用が必要になり、漏水により料金も大きな金額になります。

いざというときに困らないように、ご自宅の「メーターボックス」と「止水栓」の場所を確認しましょう。止水栓を閉めて確実に水道水が止まることを事前に確認しておいてください。（止水栓は右回りに回すと閉まります。）

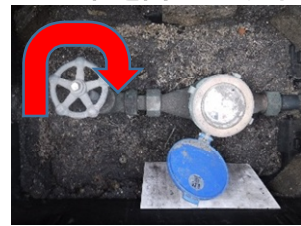
メーターボックスの一例



→ ふたを開ける



→ 止水栓を閉める（右回し）



凍結しやすい場所は？

「屋外にある蛇口」や「露出した水道管」は凍結しやすくなります。また、集合住宅の北側通路など「風通しの良いところにある水道メーター」も凍結することがあります。屋内でも部屋の中の気温が非常に低くなると蛇口などから凍結することがあります。

凍結を防止するには？

- 保温材や毛布、布などを巻いて、その上からビニールテープやガムテープなどを巻きつける。
- 不凍バルブがある所は、バルブを閉め蛇口を全部開けて水を抜く。
（完全に開閉しないと漏水の原因になるのでご注意ください）。
- メーターボックスの中に、スチロールをビニール袋に入れて保温する。
（冬季以外はスチロールを取り出してください）。
- 蛇口を少し開け、水をチョロチョロ出しておくと凍結しにくくなります。
（水を出しておいても凍結する場合があります。また水を出し過ぎると、料金が大きな金額になります。）

もし凍結してしまったら？

凍結して水が出ないときは、凍結した部分にタオルを当てぬるま湯をかけてゆっくり溶かします。いきなり熱湯をかけると凍結したところが破損する恐れがあるので注意してください。ヘアドライヤーの温風を利用するのも有効です。凍結してしまったときは、その日のうちに水を出すようにしてください。

凍結した場所が分からなかったり、温めても水が出ない場合は、お近くの「恵那市指定給水装置工事事業者」に修理を依頼してください。（恵那市指定給水装置工事事業者がご不明な場合は、恵那市上下水道課までお尋ねください。）

水道管が破裂してしまったら？

まず、メーターボックスの中の元栓を閉めてください。その後に、お近くの「恵那市指定給水装置工事事業者」に修理を依頼してください。

漏水しているかどうか確かめる方法

パイロットメーター（右の写真参照）が動いているときは、水道メーターを通して水が動いています。宅内側で水道を使用していないのに、メーターが動いているときは、どこかで漏水している可能性があります。

パイロットメーター



料金の減免制度

地下の埋設管など、通常の管理では分からないような場所からの漏水については、料金を減免する制度もあります。詳しくは上下水道課までお尋ねください。

長期間留守にする時は（空き家など）

長期間留守にするときは、止水栓を閉めておくとう安心です。特に空き家は、給水装置の破損に気付かずに漏水の被害が拡大する恐れがあり、水道代も多額に上がることがあります。空き家など長期間留守にするときは、止水栓を閉めておくか、水道の休止手続きをしてください。（止水栓は右回りに回すと閉まります。）

お問い合わせ

恵那市上下水道課（0573-26-2111）